

幼児椅子、役立てて

中央スチールと
大垣西濃信金 大野町に贈る

鋼板の溶断や穴開け加工などを手掛ける中央スチール(大野町五之里、森田勝也社長)と大垣西濃信用金庫は

21日、同社が発行した地域貢献型私募債「絆」を活用し、幼児用椅子8脚と椅子を収納する

スタッキングワゴンを同町へ寄贈した。町福祉センター(同町大野)で使用する。

同金庫が、私募債発行時に受け取る手数料の一部を活用し、発行人企業が指定する地域の団体などに物品を贈る

取り組み。同社は、昨年迎えた創業25周年を記念し、本社を置く大野町に寄贈した。

町役場で贈呈式が行われ、森田社長と同金庫神戸支店の小森弘樹支店長が宇佐美晃三町長に目録を手渡した。宇佐美町長は「頂いた椅子は幼児の予防接種や健康診断の際に役立てたい」と感謝した。(山田雄大)



宇佐美晃三町長(左)に幼児用椅子の目録を手渡す森田勝也社長(中央)と小森弘樹支店長＝大野町役場